

「琴棋書画」の「琴」：中国の楽器①

古代中国から続いた「琴棋書画（きんきしよが）」という四つの「雅趣（エレガントな趣味）」があります。日本語では「四芸」とも言います。文人墨客はこの四つの技術を磨くのが当然とされます。「琴」は古琴を弾くこと、「棋」は囲碁、「書」は書道、そして「画」は中国の絵画を指します。今回は、古琴をはじめとする中国の伝統的な楽器について紹介します。

古琴（こきん）

- 7本の弦があります。
- 中国の戦国時代から存在しています。



中国琵琶



- 前漢の時代から存在しています。
- 4本の弦があります。

伯牙絶弦（はくがぜつげん）

伯牙絶弦という物語が有名です。春秋戦国時代には、「伯牙」という古琴の技術が非常に高い人がいました。伯牙には鍾子期（しょうしき）という友達がありました。鍾子期は伯牙の曲にひかれ、彼の忠実な理解者になりました。鍾子期が病気で亡くなった後、伯牙は鍾子期の墓の前で、自ら自分の古琴の弦を切りました。「知音が亡くなったら、もうこれ以上弾く必要がない」という友に対する思念を表しました。



国際交流員が紹介する
「一、二、三！楽しい中国文化」
四大雅趣（エレガントな趣味）①

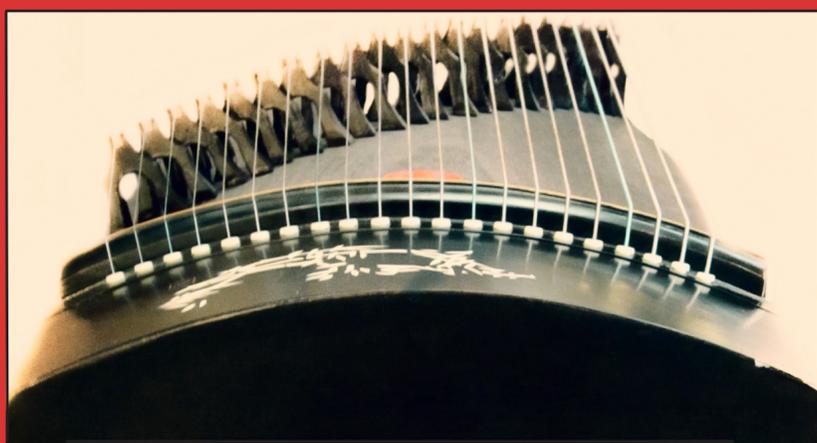




「琴棋書画」の「琴」：中国の楽器②



古筝（こそう）



- 音色がきれいな楽器です。
- 弾くための専用の爪が必要です。
- 21本の弦があります。

哲学者の孔子は、古琴を弾くのが上手でした。

詩人の白居易（はくきょい）、蘇軾（そしやく）などは、詩を書く以外にも、囲碁もとても上手でした。

東晋（とうしん）の王羲之（おうぎし）は、書道と中国の絵画がとても上手でした。現代になっても、中国で書道を勉強する人は、王羲之の字を模写します。

これからの記事は、他の三芸を紹介しますので、楽しみにしてください。

二胡



- 2本の弦があります。
- 弓を使って弾く楽器です。



国際交流員が紹介する
「一、二、三！楽しい中国文化」
四大雅趣（エレガントな趣味）①

